



第8回 スキマ研究会

まちスポ飛騨高山

開催日：2022年7月2日(土)14:00～16:00(一部)
17:00～19:00(二部)
会 場：ヒガシマチ319
主 催：認定NPO法人まちづくりリスポット
参加者：25名



今回は、飛騨地域にU/Iターンしてきた人が集い語らいました。一部ではスキマ案内人としてヒガシマチ319オーナー・洞 翔哉さん、飛騨平成会・福德 恵梨子さん、飛騨市役所総合政策課ふるさと応援係・橋本 真之介さんをお招きし、「私たちがU/Iターンをする理由」をテーマにお話していただきました。参加者も交えたディスカッションでは、「私たちの暮らし事情」「私たちが思う飛騨の魅力」について意見交換しました。第二部では、にのまえ食堂さんのお食事を囲み交流会をしました。「U/Iターン」がテーマでしたが、個々がつながることでテーマを超え、次へとつながる楽しい会となりました。



第6回 in 飛騨高山 ワーキングホリデー 始動！

高山市丹生川地区のトマト農家で就農体験が出来る「ワーキングホリデー in 飛騨高山」の第6回目の開催が決定いたしました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け2年続けて開催が出来ませんでしたが、今年は大学生が安心して参加できるよう対策をして開催いたします。就農体験を通して飛騨高山を好きになってもらいたいと話す受け入れ農家さんの心意気をくみながらまちスポが事務局としてサポートしていきます。



まちスポの窓



桃/パフェ食べたいなあー！
野首



雨の日が落ち着く〜
長谷川



ペーパードライバーを
克服するぞ
野中

今号から富山大学芸術文化学部美術・工芸コースの学生、澤田彩夏さんが似顔絵制作をしてくれています！(長谷川・野中似顔絵)
次号以降の新作もお楽しみに☆

7月のホームページ更新

<http://machispo.org>



- 【申込受付中!!】第6回ワーキングホリデーin飛騨高山
<http://machispo.org/activity/machidukuri-2/2022wh/>
- 今年も始まる!都市圏の人へ飛騨の魅力を伝える
メディアのライター募集!
<http://machispo.org/activity/machidukuri/writerbosyu/>
- 2021年度年次報告書及び決算書の公開をしています。
<http://machispo.org/koukai/>
- アンケート協力のお願い
<http://machispo.org/questionnaire-2/>
- 地域の課題解決を考える2Days
<http://machispo.org/20220803-2/>
- 2022年8月まちスポ飛騨高山イベント情報
<http://machispo.org/202208event/>

さるぼぼコイン クレジットでの 賛助会員入会が 可能になりました!

詳しくは こちらを ご覧ください! <http://machispo.org/donation>

活動を応援してくださる方を 募集しています。

♡ 個人年会費 1口 ￥3,000 ♡ 法人年会費 1口 ￥5,000

納入先

郵便振替 00840-9-183216 特定非営利活動法人まちづくりリスポット
飛騨信用組合 松泰寺支店(普)0793442 特定非営利活動法人まちづくりリスポット
高山信用金庫 駅西支店(普)0166788 特定非営利活動法人まちづくりリスポット

毎月の事業報告!
2022.08.15 August

会報

まちスポ Machispo Vol.102

イチゴ味好きな人〜

Since 2012.3.4



飛騨地域3市1村首長対談開催!

「飛騨地域の公的制度のスキマと官民一体での支援制度を考える」



2021年度からまちスポでは、飛騨地域でのコミュニティ財団(仮称)の設立を目指す活動を開始しています。

その一環で7月25日に、飛騨地域の首長4名にお集まりいただき特別対談企画を開催しました。対談では、まちスポからの話題提供として2020年度に3市1村とまちスポが官民一体で実施した飛騨地域医療支援プロジェクトの振り返りや、まちスポが今年度飛騨地域の事業者にご回答いただいた地域課題の取り組み状況アンケートの結果提示、コミュニティ財団設立の取り組みを紹介いたしました。

今回首長の立場から感じる住民が減っていく事への切迫した気持ち、それに対する関係人口の増加への期待、飛騨地

主 催：認定NPO法人まちづくりリスポット

開催日：2022年7月25日(月)

出席者：高山市長 國島 芳明様

白川村長 成原 茂様

下呂市長 山内 登様

飛騨副市長 湯之下 明宏様

開催場所：高山市役所来賓室

域を全体と捉え飛騨一円として外から訪問してもらえる環境づくりなど、皆様の本音を交えたお話を聞かせていただけました。

2時間に渡って実施したこれらの対談内容は、これから作る飛騨地域の課題をまとめた解剖図「ひだスキマ白書」にて収録します。楽しみにお待ちください。



地域のスキマ(地域課題)をちゃんと調べました!

皆様ご協力よろしくをお願いいたします!

白書製作のためのクラウドファンディング開始!



詳細は こちら

<https://readyfor.jp/projects/100787>

飛騨地域に住んでいる人、働きに来ている人、好きでいてくれている人と、課題感を共有したいという思いから、飛騨地域の課題を調査した結果をわかりやすくまとめた「ひだスキマ白書」製作プロジェクトのクラウドファンディングを開始しました。

今回は白書製作にかかる費用65万円を目標にしました! データだけではなく、冊子として手にとってたくさんの人に見ていただきたいのでご協力をよろしくお願いいたします。

支援方法

応募締切
2022年9月30日

① 自宅で寄付

- ・QRコードを読み込んで、READYFORから寄付(クレジットカード/銀行振込)
 - ・さるぼぼコインから寄付
- ※支払い確認画面のあとに出てくるコメント欄に「白書」と記入してコメントを送信してください。

さるぼぼコイン



② まちスポで寄付

- ・まちスポ飛騨高山、まちスポとやまに 来館いただき直接寄付



2022年8月15日発行(通巻102号)

発行:認定NPO法人 まちづくりリスポット 発行者:竹内 ゆみ子 編集:五十嵐 浩子

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8フレスポ飛騨高山内 TEL 0577-62-8550

FAX 0577-62-8580

E info@machispo.org

事務局休館日:毎週火曜(火曜祝日の場合は水曜日)年末年始



手芸・編物愛好会
てづか ゆきこ
手塚 由喜子さん

場所とかたちをかえながら
紡がれる人生の「生きがい」

今回紹介する手塚由喜さんは、まちなかサロンで「手芸・編物愛好会」を主催されています。まちなかサロンが5周年を迎えるこのタイミングで、開設当初から登録団体として活動されている手塚さんに活動に対する思いをうかがいました。

活動のきっかけとこれまで

手塚さんは、まちなかサロンが始まった当初から約5年間にわたり、多くの人に手芸や編物の楽しさを伝えてくれました。幼少期からお母さまより「人前に立つときは、人の話を聞いてあげて」という教えを得ていたため人前で発信する際は、そのことを心がけてきたそうです。

1991年、小学校のカリキュラムが週5日制になりました。近隣の児童文化センターから児童向けの催し物を開く依頼がありました。手塚さんのスキルを活かして、この時が手芸や編物を教えていくことのきっかけだったようです。その後、別団体の下でも、手芸・編物を教え続け、5年前から総曲輪レガートスクエアにあるまちなかサロンの登録団体となりました。このまちなかサロンは、バス停からも近く、手塚さんにとっても受講者にとっても利用しやすい施設であり、手塚さんは、活発な活動を支える要因であるとおっしゃっています。

手芸・編物を教えることで得られるよろこび

現在まちなかサロンで主宰されている「手芸・編物愛好会」では、手塚さんより年上の方も受講生でいらっしゃるようで、高齢の方が中心となって一緒に活動をされています。具体的に編物で言えば、製図を起し、試し編みをして目数・段数を入れていく・・・というような編物や手芸を基礎から教えています。これまでは、カゴや壁掛けといった多様な作品を受講者の方とつくり上げてきた手塚さんですが、手芸・編物を教えることを通して、受講生の方から頼りに



されることに一番のよろこびを感じるそうです。ものづくりという活動を通して、受講生の方から悩みを聞くことがあり、手塚さんが話を聞くことで楽になると聞きます。こういったことから、手塚さんや受講生の方にとってこの活動は「生きがい」になっていることがうかがえます。

手塚さんの活動とこれから

現在の活動として、基本的には受講生の方が、つくりたいものを活動にしていく形態をとっています。手塚さんは、できるだけ要望にのった内容を考え、受け入れる姿勢を大事にしていらっしゃいます。お話を伺う中では、これまでの長いキャリアを通して経験した生花を使った額作りなどにも取り組みたいとのことでした。

これまでの活動でのものづくりの姿勢や、受講生の方と作り出すのびのびとした雰囲気を守りつつ、まちスポとやまのスタッフの方とも連携をとりながら、これからも意欲的に活動を続けていきたいそうです。

まちスポサポーター 佐藤 龍一

ご連絡はこちらまで

▼まちスポ飛騨高山

〒506-0025 岐阜県高山市天満町1-5-8(フレスポ飛騨高山内)
TEL: 0577-62-8550 FAX: 0577-62-8580
E-mail: info@machispo.org HP: http://machispo.org

▼まちスポとやま

〒930-0083 富山県富山市総曲輪4丁目4-3(総曲輪レガートスクエア内)
TEL: 076-461-3332 FAX: 076-461-3359
E-mail: toyama@machispo.org HP: http://machispo.org

総曲輪レガートスクエア官民連携事業

社会に学ぶ

14歳の挑戦

前回2019年7月から3年を経て再開した「14歳の挑戦」。富山市立南部中学校の女子3名が活動しました。受け入れ先は、総曲輪レガートスクエア内の、まちスポとやまを含む5施設の他に、近隣の設計事務所・カフェ・お花屋さん・映画館を含む9か所にわたりました。3人の共通の不安は「人見知り」。とてもシャイな3人が、日々の活動の中で、新たな視点をもって、徐々に笑顔が増えていったことに安堵した日々でした。

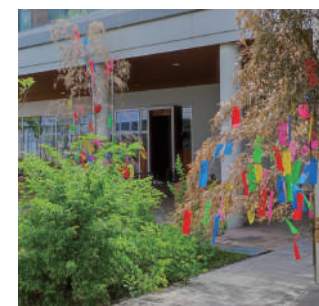
受け入れ期間：2022年7月4日(月)～8日(金)
参加者：南部中学校2年生・3名



七夕に願いを込めよう

総曲輪レガートスクエアでは、2019年から毎年貫通路に5本の大きな七夕を設置しています。合計295枚の短冊を掲示でき、夏らしさを感じることができました。今年は、わざわざ願い事を書くためにいらした方もいて良い意味でびっくり。また、今回参加したシニアのサポーターは“私が貢献できることがある”と大変喜んでおられ、こうい

うかたちで活躍の機会を準備するのも大切だと気づくイベントになりました。



令和4年度 第1回 ウェルビーイング研修 まちスポとやま

とやまし元気プログラム(以下、プログラム)の企画運営をするコンシェルジュやプログラムに関心のある人に向けたウェルビーイング研修会。日本における「ウェルビーイング」研究の第一人者である日本ヘルスサイエンスセンターの石川雄一先生による研修を3年ぶりに対面開催することが出来ました。

「ウェルビーイング」(健康で幸福な状態)とは何かを踏まえつつ、企画に参加する人たちが自然と仲良くなり、会話がはずむ運営方法を楽しく石川先生から学べることも

主催：富山市福祉政策課
認定NPO法人まちづくりスポットまちスポとやま
開催日：2022年7月5日(火) 参加者：20名

この研修の醍醐味です。次回第2回の研修は秋に開催予定です。プログラムを企画したい、参加したい、石川先生に会ってみたいという方はまちスポとやままで。

